

クオリティインディケーター(QI)成果報告 〔昭和医科大学リウマチ膠原病内科〕

指標名

ステロイド使用患者における骨粗鬆症予防人数

目標・ゴール

ステロイド服用患者の骨粗鬆症予防薬※使用率 70%以上

※ ビスホスホネート製剤・デノスマブを用いた人数

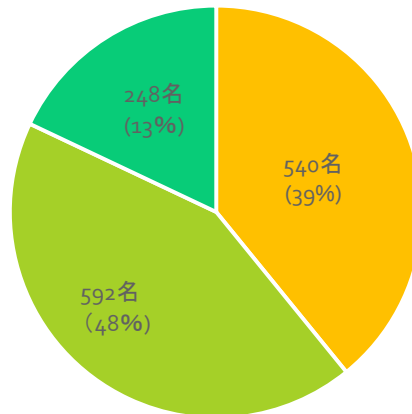
目標・ゴール達成による効果

ステロイド服用患者の骨折率や寝たきり率の低下

目標・ゴールに対する成果の状況

2024 年 1 月から 2024 年 12 月までに外来でステロイド投与された 1308 名の患者のうち、ビスホスホネート製剤は 540 名、デノスマブは 592 名に投与されており、その予防率は **87%** であった。

骨粗鬆症予防薬剤



■ ビスホスホネート製剤 ■ デノスマブ ■ 未使用

目標・ゴール達成度

※該当項目に☑をつけてください

☐S :大幅に目標を上回った

☒A⁺: 目標を多少上回って達成

☐A :目標を達成

☐B⁺: 目標を少し下回った

☐B :目標を下回った

☐C :目標を大幅に下回った

☐- :外的要因により継続困難となった。

目標・ゴールの課題・改善策

当科では定期的にステロイド副作用の一つとしての骨粗鬆症に関する勉強会をおこなっていく。またガイドラインに基づき骨粗鬆症に伴う骨折の予防に対する取り組みを行っています。